



今日は「子ども大学よこはま」の第4回目の授業です。  
「子ども大学よこはま」は1年間を学びの期間とし、はてな学・生き方・よこはま学を学びます。

2018年度子ども大学よこはま【第4回授業】

11月24日(土) 14:00~16:00 横浜市立大学カメラホール

【今日の予定】

<第4回授業>

「宇宙飛行士になるための訓練とロシアの宇宙開発」

講師：菊地 涼子（きくち りょうこ）先生  
（ロシア宇宙飛行士、元 TBS 宇宙特派員・記者）

1990年、日本人で初めて宇宙に行った秋山豊寛氏（元 TBS 宇宙特派員）とともに行ったロシア（当時はソ連）での一年以上の宇宙飛行士訓練の様子や、生活した「星の街」、打ち上げが行われるバイコヌール宇宙基地など、知られざるロシアの宇宙開発についてのお話です。

地球の周りの宇宙空間を回っている ISS（国際宇宙ステーション）は、日本を含む15か国もの国が共同で運営しています。そのISSへ行くための乗り物は、現在、ロシアのソユーズ宇宙船だけ。日本の宇宙飛行士さんたちもソユーズ宇宙船に乗るための訓練を、ロシアの「星の街」宇宙飛行士訓練センターで受けています。ISSの主要な部分もロシア製なので、ISSの使い方もここで教わります。

ロシアのことはあまり知らないという人も多いと思いますが、この機会にロシアのこと、ロシアでの宇宙飛行士訓練やロケットを発射するバイコヌール宇宙基地の様子など、ロシアと宇宙にまつわる話を通して視野を広げてもらえたらと思います。

<今日の予定>

- 14:00 はじめのあいさつ
- 14:10 授業開始  
(とちゅう休けい 10分)
- 15:55 授業終了  
(アンケート記入)
- 16:00 全体終了

<先生からの宿題>

- Q1 ソユーズ宇宙船に乗って国際宇宙ステーションに行く時には、ソコルという宇宙服を着ます。何のために「宇宙服」を着るのでしょうか。
- Q2 「第一宇宙速度」とは何でしょうか？

